

平成 22 年 5 月 10 日現在

研究種目：基盤研究（B）
研究期間：2007 年 - 2010 年
課題番号：19330168
研究課題名（和文） 幼児教育から小学校教育への移行過程の検討
研究課題名（英文） Research on transition from early childhood education to school education

研究代表者 秋田 喜代美（AKITA Kiyomi）
東京大学・大学院教育学研究科・教授
研究者番号：00242107

研究分野：教育学

科研費の分科・細目：幼児教育

キーワード：就学前教育、幼小連携、移行、東アジア、幼児教育

1. 研究計画の概要

本研究は、幼児教育から小学校教育への移行を文化間移行として捉え、先行研究の展開を文献で捉えた上で、子ども、保護者、教師の文化間移行を以下の 3 つの研究を通して明らかにするものである。

(1) 幼稚園年長児 5 歳クラス 3 学期から同一集団の子どもが小学校へどのように入学し移行するかを保育ならびに教室観察と絵画と語りによる面接を縦断的に同一の子どもに実施することで、子どもの各時期の特徴を明らかにすることにある。また保護者への 2 回の質問紙調査によって、入学前と入学後で、親の意識の変容や不安や期待の質の相違を微視的に検討する。

(2) 人事交流制度によって幼稚園と小学校の教師の両方を経験した者を対象に、園と学校での教育観や指導観、具体的指導行為等における教師文化の差異、移行に伴っていかなる経験が教師においてなされているのかの面接調査を実施分析し、論文として発表する。

(3) アジアにおける日本との比較文化研究として、台湾でも第 1 と同じ調査を行う。そして幼児教育のカリキュラムや制度改革と照らし合わせて検討する。

2. 研究の進捗状況

幼小移行の先行研究のレビューに関しては、すでに資料収集等をおえ、今年度の執筆に取り組んでいる。

(1) 日本の 3 地域での子ども、保護者の縦断調査結果を収集分析し、その結果は学会発表は 2009、2010 年度にすでに実施しており、論文原稿を書いているところである。

(2) 人事交流制度に関しては、人事交流、研修

派遣、短期訪問等に関して教員への質問紙調査を行いこの結果は日本教育方法学会で発表を行なった。また 3 年間の人事交流における教師の経験過程についてはデータは収集しプロトコルも分析し、その結果の一部は 2010 年の日本教育心理学会で発表の予定となっており、さらに論文化するべく準備を行なっている。

(3)での台湾調査が先方の突発的な用件によって実施が遅れているが連絡を取り合っただけで日本のデータは中国語訳をすべて行ないすでに先方に送っており分析の観点等についても意見の調整をすすめているので本年度中に子ども、保護者面接の比較研究は完成できる予定である。

3. 現在までの達成度

やや遅れている。これは台湾に依頼した縦断研究が最終年度実施になったために比較文化研究の部分において遅れがでているためである。他の研究内容に関してはおおむね順調に進展し、以下に示すように研究も論文化や学会発表してきており、すでに 3 本の査読付き学会誌を発表している。

4. 今後の研究の推進方策

収集したデータでの論文化と同時に台湾のデータ収集にあわせて比較文化的観点からの検討を行なうべく、台湾から幸教授を招聘すると共に日本からも台湾に訪問しさらに共同分析を本年度行なっていく。

また当初の予定にはなかったが、欧米で先進的移行研究を行なっている国の研究者（独、米）の日本招聘に伴う意見交流、筆者らの研究への指導助言をうけて研究論文の作成に

取り組む予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計8件)

1. 秋田喜代美「幼稚園・保育所と小学校との円滑な接続の意義」『初等教育資料』,856,6-11.2010

2. 秋田喜代美「学校文化と談話コミュニケーション教育実践を語る談話への視座」『異文化間教育』,29,3-15. 2009(査読有)

3. 野口隆子・鈴木正敏・門田理世・芦田宏・秋田喜代美・小田豊「教師の語りに用いられる語のイメージに関する研究 幼稚園・小学校比較による分析」『教育心理学研究』,55(4),457-468. 2007(査読有)

4. 鈴木正敏・秋田喜代美・芦田宏・門田理世・野口隆子・小田豊「ビデオ再生刺激法を用いた幼稚園・小学校教師の発達観の比較研究」『乳幼児教育学研究』,17,117-126. 2007(査読有)

5. 野口隆子「幼稚園教諭の専門性と成長 - 対話の中ではぐくまれる専門性 - 」『初等教育資料』, No828, 12月号, p68-71, 2007
他3件

[学会発表](計13件)

1. 秋田喜代美・野口隆子・淀川裕美・箕輪潤子・門田理世・芦田宏・鈴木正敏・小田豊「幼稚園から小学校への移行に関する縦断的分析(1) 園文化から学校文化への子どもの移行経験」日本教育心理学会総会発表論文集 p443009.9

2. 野口隆子・秋田喜代美・淀川裕美・箕輪潤子・門田理世・芦田宏・鈴木正敏・小田豊 2009.9「幼稚園から小学校への移行に関する縦断的分析(2) 移行経験による保護者の認識の変化」日本教育心理学会総会発表論文集 p444. 2009.9

3. Noguchi, Takako., Masatoshi, Suzuki., Minowa, Junko., Kadota, Riyo., Hiroshi, Ashida., Akita, Kiyomi., Oda, Yutaka. A study on the Images of Practical Terms

used in Teachers' Narratives of Their Practice: Comparative Analysis of Japanese Kindergarten and elementary school Teachers. European Early Childhood Education Research Association Annual Meeting(ポスター発表)プログラム集, p101 2008.9. (レフリー付)

4. 鈴木正敏・野口隆子・芦田宏・門田理世・秋田喜代美・小田豊「幼稚園・小学校教師の発達観に関する比較研究: ビデオ再生刺激法を用いて」日本乳幼児教育学会第18回大会研究発表論文集 p32-33 2008.11.

5. 芦田宏・門田理世・小田豊・秋田喜代美・鈴木正敏・野口隆子・箕輪潤子「幼小人事交流体験者への質問紙調査」日本教育方法学会第44回大会2008, 10.

他8件
[図書](計4件)

1. 秋田喜代美「協同的体験と小学校への接続」濱名浩(編著)『保育内容 人間関係』みらい p150-152. 2009

2. 秋田喜代美「「保育」研究と「授業」研究 観る・記録する・物語る研究」p177-188. 日本教育方法学会編『日本の授業研究 下巻 授業研究の方法と形態』学文社 2009

3. 秋田喜代美「幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続」無藤隆(編)『新幼稚園教育要領 ポイントと活動 幼稚園』東洋館出版社 P157, P163. 2009

4. 秋田喜代美「小学校との連携」無藤隆・柴崎正行・秋田喜代美(編)『幼稚園教育要領の基本と解説』フレーベル館 p148-162. 2008.